

関西の景気トピックス【消費関連（11年7月）】

- 11年7月の大型小売店販売状況（経済産業省）は、節電関連商品の好調や百貨店の増床効果などで、40か月ぶりに前年比プラスとなっている（業態別には、百貨店がプラス0.2%、スーパーがマイナス0.1%）。
- コンビニ売上（経済産業省）も、震災による品不足の解消や猛暑効果により、前年比のプラス幅が拡大している。
- 住宅着工戸数（国土交通省）は、住宅版エコポイントが発行される工事の着工・着手期限が7月中であったため、持家、分譲住宅ともに前年比で2けた増となっている。
- 毎月勤労統計調査（厚生労働省）でみた雇用者所得では、大阪（6月）は6か月連続のマイナスとなっている。全国（7月）も2か月ぶりにプラスとなったものの、1人当たりの現金給与総額は2か月連続のマイナスとなっている。

